

2024年11月25日

## 2024年 静岡県内企業 冬のボーナス予想

### 民間1人当たり支給額は408,400円(前年同期比+2.9%)の見込み

静岡経済研究所（理事長 馬瀬和人）では、静岡県内企業の今冬のボーナス支給額を試算しましたので、その概要をご案内します。

#### 1. 民間1人当たり支給額 408,400円（前年同期比+2.9%）

- ・企業業績の堅調な推移や、物価高と人手不足に伴う賃金上昇圧力の高まりを背景に、全企業では前年比+2.9%増加する見通し。
- ・規模別にみると、従業員30人以上の企業では、円安長期化の追い風を受け輸出型製造業で堅調な業績が見込まれるほか、対人サービス業など非製造業でも業績改善の動きがみられ、前年比+3.8%の増加となる見通し。従業員29人以下の企業では、物価高に伴い厳しい収益環境が続くものの、離職防止を目的とした賞与増額の動きがみられ、同+2.7%の増加となる見通し。

表1 静岡県の冬のボーナス民間企業1人当たり支給額推移（推計）

	2022年	2023年	2024年
全企業（円）	391,600	397,000	408,400
対前年比伸び率（%）	△ 1.5	+ 1.4	+ 2.9
うち従業員30人以上（円）	* 452,877	459,000	476,400
対前年比伸び率（%）	△ 0.9	+ 1.4	+ 3.8
うち従業員29人以下（円）	271,400	273,400	280,900
対前年比伸び率（%）	△ 3.8	+ 0.7	+ 2.7

※ 2022年の「従業員30人以上の1人当たり支給額」は、静岡県「毎月勤労統計調査年報（令和4年分）」の1人平均年末賞与（調査産業計）の公表値。その他は当所推計値。

#### 2. +2.9%の増加が予想される要因

##### ①企業業績の堅調な推移

法人企業統計によると、2024年度第1四半期（4～6月）の企業1社当たりの経常利益（全国）は、前期（1～3月）を+31.6%上回り、高水準が続く。県内上場企業の9月中間決算においては、輸出型製造業を中心に多くの企業が経常黒字を維持した。

## ②春季賃上げ額の大幅な増加

記録的な物価高や人材流出の防止を背景に、2024年の静岡県の春季賃上げ額は14,267円（前年：10,394円）、賃上げ率は4.60%（前年：3.49%）と、高水準が続いている。

## ③前年を上回って推移する名目賃金指数

静岡県の月別の名目賃金指数（2020年=100）は、21カ月連続前年比プラスで推移している。

### 3. ボーナス支給総額 5,086億円（前年同期比+5.7%）

- ・ 静岡県内民間企業の2024年冬季ボーナス支給総額は5,086億円程度と予想され、前年実績額（推計：4,811億円）に対して+5.7%の増加となる見通し。
- ・ 1人当たり支給額が前年を+2.9%上回ることに加えて、中小・零細企業では新たにボーナスを支給する動きがみられ、ボーナス支給対象者数が同+2.7%増加することから、支給総額が押し上げられる見込み。

表2 静岡県の冬のボーナス支給総額推移（民間企業推計）

	2022年	2023年	2024年
支給総額（億円）	4,736	4,811	5,086
対前年比伸び率（%）	+ 0.9	+ 1.6	+ 5.7
ボーナス支給対象者数	約120.9万人	約121.2万人	約124.5万人
対前年比伸び率（%）	+ 2.4	+ 0.2	+ 2.7

#### 推計値の算出方法

本推計は、アンケートやヒアリングなどの実態調査に基づくものではなく、ボーナスの支給が見込まれる静岡県内のすべての民間労働者（※約124.5万人）を対象として、ボーナス支給額と相関が高いと考えられる統計指標（鉱工業生産指数、労働生産性指数、有効求人倍率、名目賃金指数、消費者物価指数、1社当たり経常利益、春季賃上げ額、住宅着工戸数、新車登録台数など）を参考に、統計的手法に基づいて算出した。したがって、実際の主要企業平均支給額（静岡県内年末一時金要求・妥結速報）とは異なる。

また、毎年、最新の統計指標に基づいて再推計しているため、2022～23年の推計値は、過去に公表した値とは異なる。

※毎月勤労統計調査等をもとに推計

本件のお問い合わせ先 担当（溝口 歩嘉）